

2026年3月24日

住友電気工業株式会社

**アルミワイヤロッドの生産能力を約 1.5 倍に拡大  
富山住友電工に約 145 億円を投資、2030 年 3 月全面稼働へ**

住友電気工業株式会社（本社：大阪府中央区、社長：井上 治、以下「当社」）は、アルミ送配電線や産業用アルミ合金の材料となるアルミワイヤロッド\*の生産拠点である富山住友電工株式会社（以下、「富山住電」）の生産体制強化に向けた設備投資を決定しました。新工場建屋の建設と高品質ワイヤロッド生産設備の導入により、生産能力を現状比約 1.5 倍へ拡大し、2030 年 3 月の全面稼働を予定しています。

当社の 100%子会社である富山住電は 1973 年の操業以来、高品質・高性能のアルミワイヤロッドを生産し、送配電線のほか、自動車、鉄道、自転車、アパレル、電気・電子部品など幅広い分野において使用されています。電線メーカー、自動車部品メーカーをはじめ国内外の多くのユーザーに供給していますが、近年は、架空送電線の更新需要が堅調であるうえ、自動車の軽量化ニーズを背景とした高品質のアルミワイヤロッドの需要が増加しています。

今回の投資では、新たな溶解炉に高熱効率のバーナーを採用し、原料に占めるアルミスクラップの使用割合を高めることで、CO<sub>2</sub> 排出量を削減した低炭素アルミワイヤロッドの供給を拡大します。また、軽量化が求められる自動車部品用途の太径アルミ合金ワイヤロッドの供給能力を増やすと共に、品質面、特性面で優れたアルミワイヤロッドを製造する設備を導入することで、今後の拡大が見込まれる自動車用アルミワイヤーハーネスにも対応してまいります。

当社グループでは、タイの当社子会社 SEI Thai Electric Conductor Co., Ltd. と合わせて約 4,000t/月のアルミワイヤロッドの生産が可能となります。今後もグローバルに安定供給の体制を強化するとともに、さらなる高性能な製品の開発・販売に取り組み、エネルギー・輸送をはじめとした幅広い産業の発展に貢献してまいります。

\*アルミワイヤロッド：鋳造圧延で製造されたアルミ線材でコイル状に巻かれたもの



富山住友電工



アルミワイヤロッド

## ■富山住友電工株式会社概要

所在地	富山県射水市奈呉の江 10-2 新工場は、富山県高岡市の会社敷地内に建設
事業内容	アルミワイヤロッド、アルミ線の製造 ニッケル金属多孔体の製造
資本金	4.9 億円（住友電気工業株式会社 100%出資）
設立	1971 年 5 月
操業開始	1973 年 7 月
従業員数	約 367 名（2025 年 12 月末時点）
投資額	約 145 億円
稼働時期	2030 年 3 月 全面稼働予定

以 上